

# 広域避難者支援連絡会 in 東京 2020 年度事業報告書

2021 年 6 月

広域避難者支援連絡会 in 東京

## 1 連絡会の概要

- (1) 名 称 広域避難者支援連絡会 in 東京
- (2) 設立日 2013 年 5 月 22 日
- (3) 事務局 広域避難者支援連絡会 in 東京 事務局  
東京ボランティア・市民活動センター 内 担当：加納、品田、神辺  
〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050  
ホームページ <http://kouikihinan-tokyo.jimdo.com/>  
メール [kouikihinan@tvac.or.jp](mailto:kouikihinan@tvac.or.jp)
- (4) 参加団体 14 団体。団体名は下記の通り（五十音順）。  
荒川区社会福祉協議会  
いたばし総合ボランティアセンター  
AAR Japan[難民を助ける会]  
こどもプロジェクト  
金光教首都圏災害ボランティア支援機構  
災害復興まちづくり支援機構  
こくみん共済 coop<全労済>  
中央労働金庫  
東京足湯プロジェクト  
東京災害ボランティアネットワーク  
東京都生活協同組合連合会  
東京ボランティア・市民活動センター  
東京労働者福祉協議会  
連合東京

## 2 連絡会の事業報告

### (1) 総会の開催

- ・総会を開催し、2020年度事業計画及び収支予算等について審議した。

### (2) 定例会の開催

- ・連絡会の構成団体が集まり、情報交換や企画検討を行う定例会を開催した。

<実績>

第1回 5/14、第2回 6/24、第3回 7/9、第4回 8/13、第5回 9/10、第6回 10/8、第7回 11/12、第8回 12/10、第9回 1/14、第10回 2/4、第11回 3/11

※4月は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止した。

### (3) 当事者団体との協働事業

#### ① 広域交流事業

- ・都内にある避難当事者団体同士のネットワーク作りをさらに進めるため、連携している当事者団体と協働して広域での具体的な交流プログラムの検討を実行委員会形式で行った。

#### ○ 実行委員会の開催

- ・実行委員会を2回に分けて実施した。

1回目：11/17、2回目 11/27

※実行委員会では、①震災10年で改めて交流が出来る場、②震災10年以降の当事者団体運営の今後について意見交換を行う場、③震災10年での皆さんの個人的な生活再建に向けた動きについて情報交換を行う場、の3つについて実施の方向で進めていくことが合意された。また、新型コロナウイルスの影響で、当事者団体としてのサロン活動や交流事業がほとんど実施できていないことが共有された。

#### ② 震災10年企画

- ・2021年で東日本大震災から10年になることから、10年を節目とした交流事業を実施した。

#### ○ 東日本大震災10年当事者団体・支援団体交流会

- ・日時：2021年3月8日（月）13時30分～15時30分

- ・場所：東京ボランティア・市民活動センター10階会議室／オンライン

- ・内容：①広域避難者支援連絡会 in 東京の取組みの振り返り

②Voicefrom3.11に寄せられた「ことば」の紹介

- ・参加者：51名（うち、避難者9名）

※新型コロナウイルス感染対策の観点から多くの避難者への声掛けは控え、当事者団体の代表を中心に声をかける形式とした。

※自粛生活により元気がなくなっていた避難者が少し元気を取り戻す場となった。また、震災10年で様々なニュースに触れ、心が重くなっていた避難者の気持ちが清涼される場となった。

※福島に戻られた避難者、最近では支援活動に関わることができなくなった支援者にも参加頂くことができ、これまでのつながりを改めて感じる事ができる場となった。

※なお、この事業は、Voicefrom3.11実行委員会の共催により実施した。

### (4) 広域避難者支援ミーティング in 東京の開催

- ・避難者支援団体や避難当事者団体の交流、連携を促すための情報交換の場を提供し、様々な支援手法・アイデアの共有を通して、避難者支援団体によるさらなる支援の充実・工夫を図るため、支援団体を対象としたオープンミーティングを実施した。

#### ○ 第20回広域避難者支援ミーティング in 東京

- ・日時：2020年9月10日（木）15時～16時40分

- ・場所：オンライン（Zoom）

- ・内容：①当事者団体の活動状況の報告、②意見交換・情報交換

・参加者：46 団体 63 名

※なお、本事業は東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）が実施する「県外避難者支援運営業務 地域巡回員のオンライン情報交換会」の一環としても実施し、都内だけでなく、全国の避難者支援団体と情報交換できる機会となった。

#### ○クローズドミーティング

・JCN や関東圏の支援団体と共催で広域避難者支援ミーティング in 関東を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施できなかった。

### （５）避難者・避難者支援についての市民への周知

・これまでに連絡会で作成した冊子「3.11 県外避難者について考えよう」やパネルを活用して、広域避難者支援連絡会 in 東京の構成団体や関係団体の様々な場、イベントの機会に避難者や避難者支援について知って頂く機会を設けた。

・しかし、新型コロナウイルス感染防止対策に伴う対面での会議やイベントの中止に伴い、避難者・避難者支援の周知・PR に使用していたチラシを配布する機会が激減し、周知・PR が大幅に制限された。

#### <実績>

・東京都・北区合同総合防災訓練（パネル展示）

### （６）情報発信

#### ①メルマガの配信

・避難者支援団体の取組み情報を収集し、配信した。

#### <実績>

・配信回数：13 回

・内容：地域でのサロン情報、法律相談、就職相談会情報、イベント情報、原発賠償説明会の情報、都営住宅募集情報等

・メルマガ登録アドレス数：2020 年度末：121（2013 年度末：43、2014 年度：86、2015 年度末：95、2016 年度末：99、2017 年度末：106、2018 年度末：118、2019 年度末：117）

#### ②ホームページでの情報発信

ホームページでの情報発信を行った。

### （７）勉強会の開催

・広域避難者支援連絡会 in 東京の構成団体や当事者団体を対象とした、広域避難者支援に関する勉強会の実施を検討したが、実施できなかった。

※2000 年三宅島噴火災害における広域避難について学ぶ機会を調整していたが、新型コロナウイルス感染防止ならびに話題提供者の体調不良等で調整が難航した。

### （８）ネットワーク作り

#### ①避難当事者団体とのバディ制の実施

・各避難当事者団体につき、連絡会の構成団体が情報収集等を担当するバディ制を実施した。

#### ②全国・他県の支援団体とのネットワーク強化

・全国域のミーティングや近隣県で開催される情報交換の場への参加、事業への参画を行った。

#### <実績>

・Voicefrom3.11 実行委員会への参画ならびに事務局の担当（次ページに詳しく記載）

・東日本大震災支援全国ネットワーク「全国広域避難者支援ミーティング」への参加

・311 当事者ネットワークヒラエス「ヒラエスフォーラム 2021」への参加

#### ③都内支援団体の情報収集

・今後の避難者への関わりを検討するため、都内の様々な情報共有会議等への参加を通して、行

政や民間団体の支援情報の収集を行った。なお、東日本大震災支援全国ネットワーク地域巡回員を受託し、地域巡回員の事業としても実施した。

<実績>

- ・北多摩北部ブロック社会福祉協議会避難者連絡会への参加
- ・東京都社会福祉協議会 孤立化防止事業連絡会への参加

※都内避難者情報共有会議は新型コロナウイルス感染防止のため一度も開催されなかった（書面による情報交換のみ）

④講師対応

- ・今年度、講師対応はなかった。

Voice from 3.11～わたしたちの思いと願い～ への参加

「Voice from 3.11～わたしたちの思いと願い～」は、東日本大震災10年を機に、被災者・避難者、また心を寄せた者が改めて震災を広く考える機会とし、惨劇を繰り返さないために、多くの方と共に考え、震災での教訓・気づきを、次の世代につなげ、社会化していくことを目的としたプロジェクトです。

本プロジェクトに、広域避難者支援連絡会 in 東京も実行委員として参加するとともに、事務局を担いました。本プロジェクトでは、具体的に次の3つの取組みを行っています。

①ことばの集い

- ・これまでの思いやこれからの願いを「ことば」として集め、WEBサイトで発信

②みんなの集い

- ・3.11 ことばの集いで集めた「ことば」から大切なことを紡ぎ、多くの人と噛みしめる場

③つながりの集い

- ・特定の地域の日を設けて、オンラインでその地域の住民や支援団体、その地域に関わった支援団体、企業、ボランティア等が集まれる場

今後は、寄せられた「ことば」を読んで得られる気づきを実行委員会内で共有しながら、2021年9月を目処に宣言をまとめる予定です。

以上